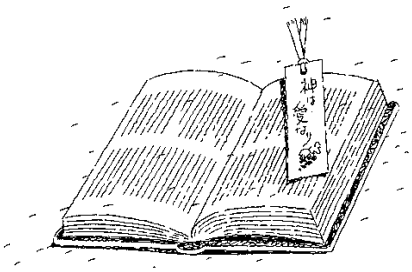
佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2024年1月号(第109号)

牧師：大髙　伊作
電話：043-461-2983
住所：佐倉市臼井田774-83
mail:isaku.sakura.church@gmail.com
HP　:http://sakura-fukuin.com



今月の聖書のことば

「苦しみにあったことは 私にとって幸せでした。 それにより 私はあなたのおきてを学びました。」【詩篇119篇71節】

2022年9月号に書きましたが、私たちには重度の知的障がいを抱えた娘がいます。2022年5月に沖縄から我が家にやって来て家族の一員になりました。2歳9ヶ月で来た娘も今では4歳になりました。当初はまともに歩くことも出来ませんでしたが、今は2mくらいなら歩けるようになりました。わざわざ離れたところに座らせてから名前を呼ぶと、今にも倒れそうな歩き方ですが私たちの所に来てくれるようになりました。まだ話すことはできませんが、食事と抱っこが大好きなことは分かりました。会話が出来ないということはコミュニケーションを満足に取れないことを意味しますから、苦労はありますし大変さもあります。また、昨年は薬の調整のために3度も入院しましたから、今でも大変であることに変わりません。しかし、一つ言えることは大変だからといって不幸ではないということです。私たちが障がいをもった子を養子に迎えようと考えた時、周囲から様々な反応がありました。そこで多くあったのは「大変ですよ」という心配の声でした。しかし、その裏には「不幸になるのではないですか」という隠された本音があったようにも思えます。ちなみに、「大変」という言葉を辞書で開きますと、「苦労が並々ではないこと」とありました。確かに、障がいをもった子を育てることは“大変”かもしれません。しかし「大変＝不幸」では必ずしもないのです。むしろ「大変＝幸せ」という図式もあり得ますし、神を信じる者にとっては後者の図式が成り立つのです。

さて、前置きが長くなりましたが、聖書には面白いことばがあります。「**苦しみにあったことは 私にとって幸せでした。 それにより 私はあなたのおきてを学びました。**」この詩を書いた作者は苦しみの中にありました。しかし、その苦しみにあったことは自分にとって幸せだったと言います。それ

はなぜか。それによって作者は「あなたのおきて」、つまり、神の教えを学ぶことになったからです。これは私の体験でもありました。娘との関わりの中で、私が本当に罪人で愛がないことを痛感させられました。イライラをそのままぶつけてしまう未熟さがあるのです。日曜日の講壇から愛を語りつつ、自分の愛のなさを痛感する。それは、娘と共に過ごしたことで深まったことでした。むしろ、神様は私に愛がないことを教えるために娘を送ってくれたのではないかとさえ思わされています。そして、そんな自分の著しい愛の欠如を思う時に、神様が罪人である私を愛して下さっていることの凄さを思わずにはいられません。神様の前に私はかなり言うことをきかない子どもです。神様の教えを理解できる能力が与えられているにも関わらず、そこに生きようとはしない。そんな私であるのですが、聖書は私のような罪人のためにイエス・キリストが十字架に架かり、私の身代わりとなって死なれたと教えます。なぜそこまでしてくださるのかと言えば、それは神が愛だからです。徹底して神様が愛だから、イエス様は私たちのためにいのちを捨ててくださいました。そのような神の愛に目が向けられるのは、私の場合では娘の子育てをする苦労があるからです。人それぞれに何を大変と感じ、何を苦しみと感じるかは違います。しかし、神様を信じて生きる恵みは、苦しみにあったことも「幸せ」と言える人生に招かれていることです。この新しい一年どんな苦しみがあるのか分かりませんが、苦しみにあったことは私にとって幸せでした、と告白できる歩みがあることを知って頂きたいと思います。

◆牧師のコラム
昔の人は「若い時の苦労は買ってでもせよ」と言いました。今では流行らない言葉かもしれませんが、真理の断片があると言えます。私も自分の子がわざわざ苦労の道を選ぼうとすれば「やめておきなよ。大変だよ」と言ってしまいそうですが、体験として苦労することは大切だとは思います。昔の人からすれば私などは苦労したうちに入らないかもしれませんが、小さな苦労でも体験していくことは大事なことだと思わされている日々です。

～集会案内～
○日曜日：礼拝 10:30～12:00（終了予定）　教会学校 9:30～10:10（子ども科、成人科）
○水曜日：聖書研究祈祷会　昼 10:30～12:00　夜 19:30～21:00
○第 2 火曜日：ユニケの会　9:00～12:00（子育てなどをしている方のための集い）
★サクサクチャンネル（YouTube）もぜひご覧ください。教会の HP から見ることができます。

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、旧統一協会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。